学校番号	T0106

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	ファッション造形基礎　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科はこれから生活を営む上で基礎・基本となる大切な教科です。
ファッション造形に関する事柄を専門的に学習し、実習を通してファッション造形の技術を身につけていきます。

2　学習の到達目標

被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得する。
ファッション造形の基礎的な能力と態度を身につける

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	被服の構成、被服材料の種類や特徴について感心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	被服の構成、被服材料の種類や特徴について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	被服の構成、被服材料の種類や特徴に関する基礎的・基本的な技能を身につけている。	被服の構成、被服材料の種類や特徴に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・プリントの感想欄等の記述 ・授業に向かう姿勢	・プリントのワーク欄等の記述 ・定期考査の結果	・実習の技能 ・実習のレポートの記述 ・定期考査の結果	・定期考査の結果 ・映像の鑑賞 ・提出プリントの記述

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="7">前期</td><td rowspan="3">人体と衣服</td><td>人体と衣服</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a: 人体と衣服の特性について感心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている
b:人体と衣服の特性について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている
c:実習を通して、人体と衣服の発達の特性に関する基礎的・基本的な技能を身につけている
d:人体と衣服の関係に関する基礎的・基本的な知識を身につけている</td><td rowspan="7">学習状況
ノート
プリント
観察・意欲
定期考査</td></tr>
<tr><td>被服実習①
手縫いの実習を行う
(刺し子)</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>立体構成衣服と平面構成衣服について学ぶ</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">衣服素材の種類</td><td>被服実習②
小物製作の実習を行う</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="4">a:衣服の素材の特性について感心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている
b:衣服の素材について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている
c:実習を通して、素材の特徴に応じた被服製作の技能を身につけている
d:衣服素材に関する基礎的・基本的な知識を身につけている</td></tr>
<tr><td>被服実習③
和服製作の実習を行う</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>衣服素材の特徴を学ぶ</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

後期	衣服素材の性能と選択	被服実習④ 小物製作の実習を行う	○		○	○	a:衣服素材の性能について感心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている b: 衣服素材の性能について理解し、目的に合わせた選択をする能力を身につけている c:実習を通して目的に合わせた衣服素材を選択した製作の技能を身につけている d:衣服素材の性能に関する基礎的・基本的な知識を身につけている	学習状況 ノート プリント 観察・意欲 定期考査
		衣服素材の性能と選択について考える	○	○		○		
	和装と洋装	被服実習⑤ 洋服製作の実習を行う	○		○	○	a:和裁と洋裁について感心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている b:和裁と洋裁の特徴を理解しそれぞれの長所を生かした、選択をする能力を身につけている c:実習を通して、和裁と要塞の基礎的・基本的な技能を身につけている d:和裁と洋裁に関する基礎的・基本的な知識を身につけている	
		和装と洋装の違いを学ぶ		○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。